

内閣総理大臣杯・文部科学大臣杯  
第４５回全国都道府県対抗ボウリング選手権大会  
(第７２回国民体育大会ボウリング競技リハーサル大会)

**実 施 要 項**

- 1 主 催 公益財団法人 全日本ボウリング協会  
松山市、松山市教育委員会  
愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会松山市実行委員会
- 2 後 援 スポーツ庁、公益財団法人日本体育協会、愛媛県、愛媛県教育委員会  
愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会実行委員会  
公益財団法人愛媛県体育協会、公益財団法人松山市体育協会  
株式会社共同通信社、全国ボウリング公認競技場協議会  
愛媛県ボウリング公認競技場協議会
- 3 主 管 愛媛県ボウリング連盟
- 4 開催期日 平成 28 年 11 月 3 日（木・祝）～11 月 6 日（日）4 日間  
監督会議 平成 28 年 11 月 3 日（木・祝） 15 時 30 分～16 時 15 分  
（ゴールドビル味酒）  
開 会 式 平成 28 年 11 月 3 日（木・祝） 17 時 00 分～17 時 45 分  
（キスケボウル）  
競技開始 平成 28 年 11 月 4 日（金） 8 時 30 分～  
（キスケボウル）  
閉 会 式 平成 28 年 11 月 6 日（日） 12 時 30 分～13 時 30 分  
（キスケボウル）
- 5 競技会場 キスケボウル（公認競技場 No. 138-32 号）BW44 レーン  
〒790-0066 愛媛県松山市宮田町 4  
TEL:089-998-3000 FAX:089-921-0134
- 6 競技方式 デュアルレーン方式（アメリカ方式）で実施する。
- 7 競技種目 (1) 男・女混合 2 人チーム戦 6 ゲーム  
(2) 男・女混合 4 人チーム戦 6 ゲーム  
(3) 選手権者決定戦（男子） 6 ゲーム  
(4) 選手権者決定戦（女子） 6 ゲーム
- 8 競技方法 (1) 混合 2 人チーム戦及び混合 4 人チーム戦は、それぞれ 6 ゲームの競技を行い

(1 ゲーム毎にレーン移動)、その合計得点によって種目順位を決定する。

(2) 選手権者決定戦は、上記 2 種目における個人の総得点 (12 ゲームトータル) の上位より男女各 20 名を選出し、さらに 6 ゲームの競技を行い (1 ゲーム毎にレーン移動)、合計 18 ゲームの総得点によって男女の選手権者並びに個人の順位を決定する。

(3) 本大会のハンディキャップ (全種目に採用) は次の通りとする。

50～59 歳 = 5 点      60～69 歳 = 10 点      70～74 歳 = 15 点

75～79 歳 = 20 点      80 歳以上 = 25 点

※ 年齢基準は、平成 28 年 4 月 1 日現在の満年齢とする。

- 9 競技規程 本大会は、J B C 選手権競技会規程及び J B C ボウリング競技規則に基づいて実施する。
- 10 同位の裁定 各種目において同位が生じた場合、第 133 条に基づき裁定する。  
ただし、選手権者決定戦において 1 位と 2 位が同点の場合は 9・10 フレームの決定戦により順位を決定する。
- 11 参加資格 平成 28 年度 J B C 登録会員 (個人正会員、実業団会員、高等学校登録会員、ジュニア会員) で、各連盟より選抜された代表選手であること。  
(個人普通会員は個人正会員に登録変更すれば参加できる)  
※学生連合会員は参加できない。
- 12 参加割当 (1) 基本割当は、各連盟とも 1 チーム (男子 2 名、女子 2 名)  
(2) ボーナス割当は、J B C 競技委員会にて決定する。
- 13 施設使用料 1 チーム 26,800 円 (1 名 6,700 円)
- 14 褒 賞 (1) 団体総合 (内閣総理大臣賞状並びに大臣杯) : 優勝～第 3 位  
(2) 選手権者決定戦 (男女別) (文部科学大臣賞状並びに大臣杯) : 優勝～第 6 位  
(3) 混合 2 人チーム戦 : 優勝～第 6 位  
(4) 混合 4 人チーム戦 : 優勝～第 6 位  
(5) 個人ハイゲーム賞、個人ハイシリーズ賞 : 男女別 (スクラッチとする)  
(6) 参加賞 : 参加者全員に贈る。

(注 1) 団体総合は、各種目の入賞ポイント得点により順位を決定する。優勝団体に「内閣総理大臣賞状並びに大臣杯」、準優勝団体に「全国知事会会長杯」、第 3 位団体に「大会会長杯 (楯)」をそれぞれ授与する。

(注 2) 入賞ポイントは、2 チーム以上が参加する団体の場合、4 人チームの A チーム登録選手のみが対象となる。ただし、各種目の表彰は参加全チームがその対象となる。

(注 3) 入賞ポイント

各種目の入賞チーム（者）に、次のポイントを与える。

優 勝＝10      準優勝＝7      第3位＝5

第4位＝3      第5位＝2      第6位＝1

団体総合ポイント合計が同ポイントになった場合には、入賞ポイントに貢献した選手の合計得点が多い方を上位とする。

Bチームが入賞した場合でも、入賞ポイントの繰り下げは行わない。

(注4) 個人ハイゲーム、ハイシリーズは、混合2人チーム戦、混合4人チーム戦の2種目を対象とする。

(注5) 男女選手権者に「文部科学大臣賞状並びに大臣杯」を授与する。

(注6) 団体総合優勝団体に「松山市長賞」を授与する。

(注7) 投球順について、混合2人チーム戦は①女子 ②男子、  
混合4人チーム戦は①女子 ②男子 ③女子 ④男子とする。

#### 【注意事項】

- (1) 2チーム以上参加する連盟は、申し込み時点でAチーム、Bチームを明確にすること。
- (2) 公認ゲーム消化証明は、各連盟の責任において確認すること。
- (3) 大会使用ボールの登録は、会場に持ち込んだ全てのボールを競技開始前に登録すること。登録には、2個目から1個500円の登録料を納入するものとする。また、ボールの追加登録は原則として認めない。  
5個目からは特別保管料として、1個につき1,000円を追加徴収する。
- (4) 競技中に参加全競技者の中から無作為にボール検査を実施する。シフト終了後、主管役員により指名された選手は速やかにボール検査に協力すること。登録していないボールを会場へ持ち込んだ場合、それまでの記録は全て無効とする。
- (5) 未検査ボール、ボール検査合格証不携帯の場合は、競技開始前に検査を受けること。この場合の検査料は1個500円（硬度検査のみ200円）とし、大会期間中のみ有効のボール検査合格証を発行する。
- (6) 大会に使用するボールの持込みは4個以内に自粛すること。
- (7) 会員証不携帯の場合、今大会のみ有効の臨時会員証を発行する。  
申請書に必要事項を記入し、300円の発行手数料を添えて申請すること。
- (8) 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。
- (9) 監督は、連盟旗を持参し、監督会議に必ず出席のこと。
- (10) 開会式には各団体とも、監督・選手全員が参加すること。
- (11) 閉会式には各団体の監督とプラカード保持者1名及び表彰対象者全員が参加すること。
- (12) ボウリングボール等を事前にキスケボウルに送る場合、どの宅配業者を利用しても構わないが、11月2日（水）の13時以降に到着するよう手配すること。

- 15 申込方法 以下の<1>または<2>のいずれかの方法で申し込むこと。  
(<1>は従来の申込方法 <2>は電子データによる申込方法)  
<1>団体ごとに所定の〔参加申込書〕〔監督登録書〕〔チームメンバー登録書（混合 2 人チーム戦）〕〔チームメンバー登録書（混合 4 人チーム戦）〕に必要事項を記入して、2 部コピーをし、原本は各連盟控用、コピーした 2 部は下記申込先へ送付する。  
<2> 下記の手順で申し込みをしてください。  
① 愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会松山市実行委員会の HP「リハーサル大会」の「ボウリング」のところから必要書類をダウンロードする。  
<http://www.matsuyamacity-kokutai.jp/rehearsal/>  
② 必要事項を入力したデータを連盟アドレス [gqcn3889n@hyper.ocn.ne.jp](mailto:gqcn3889n@hyper.ocn.ne.jp) に送付する。
- \* 不明な点は、下記申込先にご連絡ください
- 16 申込先 〒790-0066 愛媛県松山市宮田町 4 キスケボウル内  
愛媛県ボウリング連盟  
TEL・FAX：089-941-9061  
E メール：[gqcn3889n@hyper.ocn.ne.jp](mailto:gqcn3889n@hyper.ocn.ne.jp)
- 17 施設使用料の納付  
施設使用料は同封の連絡事項記載の口座に振り込み、その写しを参加申込書と同封で郵送すること。なお、送金締切日は 9 月 26 日(月)とする。
- 18 申込締切 平成 2 8 年 9 月 2 3 日(金) 厳守
- 19 宿泊・昼食弁当申込  
宿泊・弁当の申込、料金については別添「宿泊プラン・弁当のしおり」を参照。
- 20 その他 (1)納入された施設使用料は、送金締切日以降、返金しない。また、自然災害等により大会を中止した場合、旅費・宿泊費の補償はしない。  
(2)主催者として、傷害補償責任等は一切負わない。  
(3)競技中の疾病、負傷等の応急処置は主催者で行う。監督・選手は保険証の写しを持参すると共に、スポーツ傷害保険等に加入することが望ましい。  
(4)大会期間中、練習レーンの開放はありません  
(5)競技会場と監督会議会場の移動手段は徒歩になります。(約 5 分)  
(6)宿泊施設から競技会場までの移動は各自で対応してください。  
(7)競技会場併設の立体駐車場に自家用車両の乗り入れは可能ですが、駐車料金は自己負担となります。(30 分 100 円)